

令和 6 年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 7 年 4 月 15 日

団体所在地 広島市安佐南区大塚東

1-7-1

団体の名称 森のようちえん まめとっこ

職・氏名 代表 石井千穂

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- たけのこ掘りと調理
- 桜茶用の八重桜摘みと塩漬け作り
- 水辺の生き物探し
- 田んぼで泥んこ遊び
- モリアオガエルの卵とオタマジャクシの観察
- 地域の植物で草木染め(手ぬぐい)

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 水晶探し
- 竹の伐採と竹コップ作り
- 海辺の生き物探しとふれあい体験
- 細竹で秘密基地の目隠し作り
- 雨を利用した紙染めとちぎり絵
- 秋の植物採取とお月見パーティー

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- 弓矢作りとファミリーイベントへの出店
- 秋の草花・木の実でお絵描きや工作
- 草木染め(セイタカアワダチソウ)
- 栗拾い、サツマイモの収穫と調理
- みつろうキャンドル作り
- 野イチゴジャム作り
- 雑木林の整備と秘密基地づくり
- 年長登山(卒園までに3回)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ビニール凧あげと木の枝グラウンドゴルフ遊び
- 竹筒で演奏会
- サザンカの首飾り作り
- ふきのとう探しとふき味噌作り
- 雪遊び、そり滑り
- 食べられる野草摘み

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述) 【地域の植物で草木染め】

オオキンケイギクの花とタケノコの皮で手ぬぐいを染めた。園舎のある地域では近年、特定外来生物であるオオキンケイギクが繁殖し、植生が変化しつつある。地域の方々に許可を得て採取し、染液を作ってさらし布を染めた。ネットに花を入れ輪ゴムで留める作業や、布を結んだり、染液に浸した後に結び目をほどいたりする作業など、園児がそれぞれ興味のある仕事を選び取り組んだ。オオキンケイギクからは黄色、タケノコの皮からは濃いピンク色と、身近にある植物から美しい色を写し取り、生活の楽しみに活かす体験ができた。また、外来植物の生育する範囲が広がらないように、花の種を落とさずに運ぶことを教わり実践するなど、環境に配慮する態度を学んだ。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

【海辺の生き物探しとふれあい体験】

フィッシングトレーナーの岡本晃さんを講師に招き、江田島への親子遠足として開催した。海遊びを楽しみながらカニ、ヤドカリ、イソギンチャクなどを捕まえて観察をしたり、触れてみたりした。広島島の磯の特徴でもある、岩に張り付いた牡蠣を石で割って潮だまりに落とすと、牡蠣の身を食べに小魚やヤドカリが集まってくるのを見て、水辺で命が循環することを知った。生き物の生態や捕まえ方を講師から教わり、触れたことのない生き物に触ってみるなど、未知の世界に親子で挑戦する時間となった。講師が採取したタコや魚をもらい、翌日、園児と調理し、塩焼きや煮魚、タコ刺しにして美味しく頂くこともできた。

【10月～12月】

(写真)



【エピソード記述】 【弓矢作りとイベント出店】

「森にあるもので遊んでもらう体験」をテーマに話し合い、ファミリーイベントで弓矢遊びのお店を出店すべく、園児と準備した。毎日の森遊びの中で竹や杉の枝を集め、ノコギリやナイフ、紐結びなど、手先を使う作業をしたり、自分自身で弓矢を飛ばす練習をしたりするなど、多くの子どもが少し難しいことに挑戦する機会となった。園児発案でイノシシやお化けに見立てた的を工作したり、秋の植物で看板を作成したりと、お店の準備に主体性が発揮された。体験型のお店にしたことで、お客さんへの説明、お金や弓矢の受け渡し、片付けなど、様々な係で接点を持つことができ、園児の貢献感が高まった。また、手作り通貨ではあるが自分たちで売り上げたお金が配分され、別の店に買い物に行けたなど、小さな経済を体感することもできた。

【1月～3月】

(写真)



【エピソード記述】 【サザンカで首飾り作り】

年が明けると、園児たちが一つ大きくなることに向けてのギアが確実に一段上がる。これは、1年かけてまいた「信じて待つ保育」の一旦の結果とも言える。子どもがそれぞれの発達の中で自立し、互いの人間性を知って仲間になり、子ども主体の場として自治する様子が見えてくる。ある日、雑木林の中で咲き乱れるサザンカに出会った。子どもたちは背丈より高い所にある花をなんとか取ろうと、ジャンプしたり枝を当てたりして画策する。ひとたび枝先を掴むことができた子どもが枝を下におろし、別の子どもに花を採るように促す。そうして花を採った子どもは、次に木の下にやってきた子どもに説明をし、今度は自分が枝を下げて採らせてあげるのだ。そのようにして採ったサザンカの花を紐に通して、首飾りを作った。雪がチラつき、手がかじかむ中で、どうしても紐を通したい、結びたい、と、ここでも試行錯誤や協力が見られた一日であった。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- 職員の資質向上について
 - ・自然保育認証団体安全管理研修（自然の中での火や刃物等の使用方法）にスタッフと保護者が参加
 - ・ひろしま自然保育・議員勉強会に代表が参加
 - ・ひろしま自然保育推進交流会にスタッフが参加
 - ・赤十字救急講習をスタッフ、保護者が受講（2回実施）
 - ・園舎・活動場所付近の AED 設置状況の調査をスタッフ・保護者が実施
 - ・自然体験活動中の事故対応ワークショップを自主開催し、スタッフと保護者が参加
 - ・森のようちえん指導者養成講座をスタッフと保護者が受講
 - ・森のようちえん安全講座専門講習会を代表が受講
 - ・森のようちえんかたりばに代表が参加
 - ・発達障害児基礎研修会をスタッフが受講
- 地域との関わりについて
 - ・近隣地区の農家を訪れ、田んぼの泥んこ遊びや芋ほりをさせてもらう。
 - ・近隣地区の協力者に敬老の日の絵手紙をプレゼントしたり、お返しにかぼちゃを頂いたりした。
- 保護者との関わりについて
 - ・定例会を計8回開催し、スタッフと保護者で意見交換やワークショップを行った。
 - ・父親保育参加日を2回実施した。
 - ・保護者・スタッフで登山の下見を3回行い、交流を兼ねてリスクマネジメントを学び合った。
 - ・園舎周りの草刈りや伐採した木の枝の掃除を定期的に行った。
 - ・活動後の誕生会や年末の宝探しなどを保護者が企画、運営した。
 - ・スタッフがスワッグ作りやしめ縄作りのワークショップを開催し、保護者とスタッフで参加した。
 - ・麦わらぼうしこども学セミナーに保護者が参加した。
- その他
 - ・園児（年少～年長）と未就園親子組の合同活動を開催し、より幅広い年齢層の子ども同士が森で関わる機会を作った。子ども同士はお互いの存在が刺激となり、親子組の保護者は森で力強く育つ年上の子ども達の姿や、ようちえんの保育方針を間近で見る機会となった。
 - ・ファミリーイベントを本年も地域のイベントとして開催した。スタッフ、保護者、園児それぞれが自然物を用いたお店を開き、園独自の通貨を作成してお店屋さんごっこを実施した。自然の恵みを地域の方々と共有する機会となった。
 - ・個人、他団体、行政、マスメディアなど多くの方から視察見学や取材申込みをいただき、取り組みやノウハウを積極的に伝えたり、情報交換したりした。

※より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	・ホームページ、ブログ、各種 SNS へのリンク集 https://lit.link/mametokko
-------	--